

現代のOT養成校での教育にふさわしいシリーズとして第3版刊行開始!

# 作業療法学 第3版

## ゴールド・マスター・テキストシリーズ



体裁 B5判, オールカラー, 250~500頁

シリーズ監修

長崎重信 文京学院大学教授

▼ 今回の改訂では、主に以下のポイントについてアップデートを行います

1. 紙面のフルカラー化
2. 事例などの動画を提供
3. 国家試験対策をさらに充実
4. 能動学習を助ける囲み記事の新設
5. 作業療法参加型臨床実習に関する解説の追加
6. 「画像評価」「栄養」「薬理」「救急」などの新科目に関する情報の追加
7. 『義肢装具学』の巻の追加

### 採用特典

『作業療法学ゴールド・マスター・テキストシリーズ』を教科書としてご採用いただいた先生方に、採用特典として図表データをご提供いたします。詳細は弊社ホームページをご覧ください。

▶ [https://www.medicalview.co.jp/textbook\\_download/](https://www.medicalview.co.jp/textbook_download/)



### 作業学 第3版

編集 浅沼辰志 東京医療学院大学教授

定価 5,280円(税込)  
392頁

### 精神障害作業療法学 第3版

編集 山口芳文 東京医療学院大学教授  
野本義則 東京医療学院大学講師

定価 4,840円(税込)  
388頁

### 発達障害作業療法学 第3版

編集 神作一実 文京学院大学教授

2021年6月  
刊行予定

### 作業療法学概論 第3版

編集 里村恵子 東京保健医療専門職大学  
准教授

2021年9月  
刊行予定

### 義肢装具学 NEW!

編集 山中武彦 日本福祉大学教授  
中村恵一 中部労災病院主任作業療法士

2021年12月  
刊行予定

### 高次脳機能障害作業療法学 第3版

編集 鈴木孝治 藤田医科大学教授

2022年1月  
刊行予定

以下続刊

### 作業療法評価学 第3版

編集 佐竹 勝 大阪河崎リハビリテーション  
大学名誉教授  
石井文康 日本福祉大学教授

### 地域作業療法学 改訂第2版

編集 徳永千尋 日本医療科学大学教授

### 身体障害作業療法学 第3版

編集 長崎重信 文京学院大学教授

### 日常生活活動学(ADL) 改訂第2版

編集 木之瀬隆 NPO法人日本シーティング・  
コンサルタント協会

### 老年期作業療法学 改訂第2版

編集 徳永千尋 日本医療科学大学教授

### 福祉用具学 改訂第2版

編集 山中武彦 日本福祉大学教授

# 改訂のポイント

## 8 音楽

宮 嗣子

### 音楽で身につけてほしい内容

- 音楽は受動的活動と能動的活動に分かれ、活動を身体的側面・心理的側面の目的に応じて使い分けたり、段階づけたりすることを検討できる。
- 音楽活動は内容が幅広いため、対象者の病態や障害だけでなく好みや満足度に合わせた音楽の選択について述べるができる。

### 音楽の全体像

#### 歌唱



#### 楽器演奏



#### カラオケ



#### 音楽鑑賞



治療学

## 2 治療・援助の場

野本義則、内田遼二、笠嶋都子

### Outline

- 精神科作業療法は、精神疾患を有する者の社会生活機能の回復を目的として行う。
- 精神科作業療法で対象となる疾患は、多くは統合失調症であるが、さまざまな精神疾患が対象となる。
- 精神科作業療法は作業療法室を中心に、病棟内、運動場や体育館、花壇や農園、病院近辺の外出入りや交通機関、地域の社会資源や患者の退院先など、必要に応じてさまざまな場所で実施される。
- 外来作業療法の対象者は精神疾患を有する患者で、回復期前期から維持期までと多様である。精神科デイ・ケアの集団活動が苦手な患者も対象となる。
- 外来作業療法専用のプログラム充実が求められる。
- 精神科デイ・ケア等では、多彩な職種により援助チームが構成される。
- 精神科デイ・ケア等では、疾患の特徴や利用者のニーズに合わせて目的と目標がある。
- 精神科デイ・ケア等では、グループワークがプログラムの中心である。
- 精神療養病棟は、歴史的背景や社会的理由、症状が重度であること、身体合併症があることなど、さまざまな理由により長期の入院が必要な精神障害者が対象である。
- 精神療養病棟では、長期にわたる精神療養を行うのに十分な環境が整えられているだけでなく、退院に向けた取り組みも積極的に行われている。
- 認知症治療病棟は、重度の認知症患者を対象に、集中的な入院医療を行う病棟である。
- 認知症治療病棟における作業療法士は、生活機能回復訓練の評価や治療にかかわる。
- 精神保健福祉センターは、都道府県の精神保健福祉に関する技術的中核機関である。
- 作業所は、精神障害者の福祉的就労の場であり、一般就労への移行支援施設である。
- グループホームは、精神障害者が住み慣れた地域で、支援を得ながら共同生活する場である。

### 症例2 アルコール依存症

#### ■高校教師を定年退職後、アルコール依存症が問題となった事例

60歳代男性。妻と2人暮らし。高校教師(国語)を定年退職後、自宅から出ようとしず趣味の読書にふけり、家事もしないため、妻から「何もしてくれない」といわれていた。徐々に日中からビールを飲むようになり、段々とアルコール度数の高い焼酎などに移行していった。夜は毎日多量に飲酒していた。食事も入浴も不規則となり、昼夜逆転、生活リズム全体が崩れてくる。退職約1年後くらいから自宅に引きこもって出てこず、食事も妻の不在時に自宅に持って行って食べる生活となる。妻とはけんかが絶えず、手が出ることもあった。妻は状況には薄々気づいていたが、触れられないでいた。最近酒を含まずともなく、あまりにも自宅から出てこないため、部屋に入ってみると、げっそりと痩せて腹痛を訴え、尿やアルコールの空き缶や空き瓶などのゴミが散らばっているを発見。アルコールもひどいため、長男をよんで内科を受診するも、アルコール依存症専門プログラムのある当院を紹介されて初診となる。本人はアルコールの問題は否認しており、「退職後何もしない体力が落ちていく」「食欲がなく、元氣も出ないためアルコールを飲んでいた」「すぐに元氣になる」「昔から酒を飲むと元氣になる」とのことであった。特に既往となる疾患はない。妻からの情報によれば、趣味は読書と本の読み聞かせ、性格的に生活真面目で誠実、こだわりが強いことがあるとのことである。

### 紙面のカラー化

オールカラー化で学生のニーズに応えました。手技などの写真もカラーとなり、さらに学びやすくなりました。

である。  
①ショック：障害を負ったことによる驚き、戸惑い、無関心状態。  
②否認：自覚できないことへの否認。  
③混乱・怒嘆：絶望、怒り、極度の不安。  
④解決への努力(現実認識)：自分自身を冷静に見つめ、新たな生活に向けて目標や課題を見出す。  
⑤受容・適応(順応)：新しい自分の価値を認め、障害があっても前向きに生きようとする。

### かわかり)

このセッションは、精神科の場面で行われることが多い。単純に仲間と

### オリジナルの動画コンテンツ

患者の特徴的な症状や動作、評価・治療方法などを授業で教えるのに役立つ動画を配信します。

1~3人。進行役(リーダー)、サポート役、伴奏者(いなくてもよい)。

### Web動画

#### 方法

- ①輪になるように椅子をセッティングする(図14a)。スタッフは集団の中で参加者の中に分散して座る。
- ②ウォーミングアップ(図14b)：ハンドベルを1人1つ持ち、ハンドベルの鳴らし方に慣れる。リーダーから右隣りの人に向かって音を鳴らして1周、逆まわりで1周する。
- ③リーダーに向かって音を渡す(図14c)。リーダーは別の人に音を渡し、音のキャッチボールをする。

### 内容の充実化

囲み記事「**Outline**」「**アクティブラーニング**」「**作業療法参加型臨床実習に向けて**」を追加します。また既存の囲み記事「**Case Study**」に「**Question**」を挿入し、各項目の末尾にあった「まとめのチェック」はタイトルを「チェックテスト」に改め、引き続き掲載します。内容については、患者の症状や治療手技の模倣・実施に役立つよう、具体的な内容を問う問題に書き換えます。解答は弊社HPに掲載します。

ンと精神科作業療法を併用することもあるので、それぞれの作業療法士などとの情報共有も重要である。なお、認知症患者に対する具体的な評価・治療についてはp●「認知症」を参照のこと。

### 2025年

① 認知症治療病棟の生活機能回復訓練。認知症患者リハビリテーション、精神科作業療法、それぞれの作業療法士の役割の違いについて調べてみよう。

### 作業療法参加型臨床実習に向けて

精神疾患および行動異常が特徴的な認知症患者への臨床実習指導者のかわかりをしっかりと見学しよう。

### Case Study

80歳代男性。前酒、散歩に出かけただけに道に迷い、警察に保護される。その翌日、家族に付き添われて、認知症外来を受診。アルツハイマー型認知症と診断され、入院となった。

### Question 6

この患者に対する認知症治療病棟に入院中の生活機能回復訓練について調べているものを選びなさい。

- a 1日2時間行う
- b 身体機能面のみを行う
- c 生活機能回復訓練室以外の場所で行うことができる

※ 解答 p.15

### 6 精神保健福祉センター

精神保健福祉センターは、「精神保健の向上及び精神障害者の福祉の増進を図るため」に設置された相談機関である。「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)」第6条に規定され、各都道府県、政令都市に技術的中核機関として1カ所は設置されている。精神保健福祉センターに困ったときに相談すれば、役立つことであろう。精神保健福祉センターの概要を表1に示す。

### 巻末に症例集を追加(「作業学」を除く)

本文中の既存の囲み記事「Case Study」に加えて、実習対策に役立つ症例集を巻末付録として掲載します。

※ご注文、お問い合わせは最寄りの医書取扱店または直接弊社営業部まで。

TEL162-0845 東京都新宿区市谷本村町2番30号  
TEL.03(5228)2050 E-mail(営業部) eigyo@medicallview.co.jp  
FAX.03(5228)2059 https://www.medicallview.co.jp/

